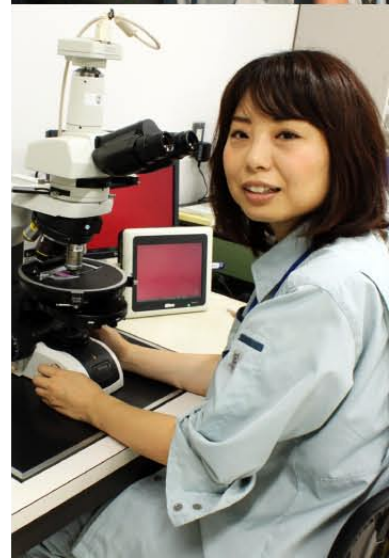


大阪府立環境農林水産総合研究所
職員採用ガイド

人と環境、未来をつなぐ。



地方独立行政法人

大阪府立

環境農林水産総合研究所

Research Institute of Environment, Agriculture and Fisheries,
Osaka Prefecture



研究所では、意欲的で熱意のある方を求めています！

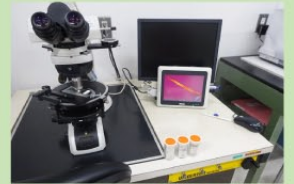
当研究所は、大正8年設立の「大阪府農事試験場」から始まり、平成19年に全国的にも珍しい環境分野と農林水産分野が融合した総合研究機関となりました。平成24年には地方独立行政法人化し、行政や事業者、地域の方々とも連携して、技術的な面で大阪の環境保全や農林水産業および食品産業を支援するという役割を担っています。

近年では、AI、IoT技術や6次産業化に対応した農林水産業および食品産業の発展、地球温暖化対策の推進、新たな環境問題への対処、循環型社会の構築など、高まる社会ニーズへ柔軟な思考をもって対応していくことが求められています。

研究所では、このような社会ニーズへ対応していくため、先端技術や幅広い知見を吸収し、調査研究・技術開発に取り組む意欲を持ち、自らの経験や強みを存分に発揮したいという熱意ある方をお待ちしています。

環境分野

大阪府の大气、河川、海域環境のモニタリング調査・分析や環境技術の開発支援、中小事業者の省エネ・省CO2の取り組みへの支援およびバイオマスのリサイクルに関する研究を行っています。また、外来生物や野生鳥獣、水辺環境、森林、都市緑化などを対象とした調査研究を行い、大阪府内の生物多様性保全に関する普及・啓発などを行っています。



農林分野

大阪府で栽培される大阪産（もん）野菜・果樹・花の生産を総合的に支援するための調査研究のほか、農作物や食品の品質評価、食品加工技術の開発支援、農林漁業者の6次化への取り組み支援、福祉分野への農業の活用などのテーマにも取り組んでいます。また、農業の担い手の育成なども行っています。



水産分野

大阪湾の環境保全・改善についての調査研究を行うとともに、大阪湾の二枚貝を毒化させる貝毒原因プランクトン情報などを迅速に発信しています。また、藻場の再生や、水産資源の適切な管理手法・増殖技術についての調査研究や、府内で水揚げされる水産物のブランド化の推進を行うなど、大阪府の水産業の振興に寄与する業務を行っています。



職種紹介

Job

◎ 研究職

高度かつ専門的な知見のもとで、常にクリエイティブな発想により課題を提案し、解決に向けた調査研究を行います。

◎ 事務職

人事・経理・財産管理・契約・出納等、法人運営にかかる事務処理全般を行います。

◎ 技術職

専門知識に基づいた技術的知見のもとで、精確かつ迅速な調査分析、技術相談への対応などを行います。

◎ スタッフ職

各現場の作業実施スペシャリストとして、調査研究の現場において、ほ場などの維持管理、機械設備の操作や保守などを行います。



各施設案内

Facilities

施設見学をご希望の方は
お気軽に各連絡先まで
お問い合わせください



大阪府立
環境農林水産総合研究所
羽曳野市尺度442
TEL：072-958-6551(代)



水産技術センター
泉南郡岬町多奈川谷川2926-1
TEL：072-495-5252



生物多様性センター
寝屋川市木屋元町10-4
TEL：072-833-2770

Q1 現在の仕事内容と、その仕事のやりがいを教えてください。

Q2 研究所の魅力を伝えてください。

研究職 (農学分野)

大阪の農業と食を支える、やりがいのある仕事です!



下野 雄太 Shimono Yuta

Q1 私は食品加工という切り口から大阪の農業や産業を支援する研究を行っています。

入所1年目には、府内の養鶏場と農家により共同提案された「大阪産(もん)の素材を活かした絶品レトルトカレー」の製品開発に取り組みました。レトルト処理後も具材の形を残すことが難しく、レトルト温度や時間、下処理方法を工夫して何度も試作を繰り返しました。その分、思い通りに袋からゴロっとした野菜が出てきた時は嬉しかったです。この製品を、大阪産(もん)の素材のPRに使っていただける日が楽しみです。

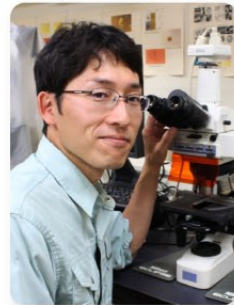
現在は、ぶどう加工品やワイン研究の立ち上げを担当しており、全国をリードする醸造技術を開発して、ぶどうやワイン産地としての大阪の知名度を高めていくことが目標です。

Q2 府立の研究所であるため、民間企業の視点とは異なり、府民の生活にとって重要なことに研究テーマとして取り組める点が大きいです。

入所 平成28年4月
所属 食と農の研究部 葡萄グループ
担当 醸造試験、醸造微生物に関する研究

研究職 (水産分野)

一緒に豊かな大阪湾を目指しましょう!



秋山 諭 Akiyama Satoshi

Q1 現在の主な業務として、大阪湾の海洋環境・プランクトンのモニタリングを担当しています。長期にわたるデータの蓄積は大学にはない公設試の強みであり、過去からのデータを利用した赤潮予察手法の開発や、温暖化の影響といった、海洋環境の変動解析にも取り組んでいます。

大阪湾は水産業としての規模は小さいですが、場所によって随分環境は違いますし、興味深いフィールドです。天然のものを相手にしなければならぬので、現場に出ないと見えない問題が多々あるという面白さのひとつですね。

今後は、水質モデルや低次生態系モデルを用いた生物生産の解析にも力を入れ、栄養塩の状況など大阪湾内で何が起きているのかを再現して、将来的には、それをもとに大阪の魚の生産量を増やす方策の提案もしていきたいと考えています。

Q2 大阪の農林水産業の活性化を目標に、次々と新しい試験研究課題にも挑戦します。職場はアットホームで、課題を分担しながら共通の問題意識をもって仕事を行うことができます。また、子どもの保育園送迎のために育児時間を取得することもでき、男性の育児にも理解がある職場です。

入所 平成25年4月
所属 水産研究部 海域環境グループ
担当 海洋観測、海洋の低次生態系に関する研究

研究職 (農学分野)

明るく元気な「生き物大好き」「自然大好き」な人求む!



土井 裕介 Doi Yusuke

Q1 主に大阪府が行っている流木対策事業の効果検証調査を担当しています。森林調査は重い機材を背負って急な斜面を歩くこともあり、体力的に大変ですが、数多くフィールドに通うことで、時には思いもよらないアイデアや新たな発見があります。

調査結果は、近年多発している集中豪雨等による土砂災害や流木災害の対策に活かされており、府民の安全を守ることにつながるので、とてもやりがいを感じています。今後も、災害に強い森づくりの研究に力を入れたいと思います。

大学では森林生態学を専攻していたので、植生調査の経験や生態学の知識は、調査研究を実施するうえでの基礎となっています。また、前職で取得した樹木医やピオトープ管理士等の資格は、樹木管理やピオトープに関する問い合わせの対応に活かすことができている。

Q2 研究所には様々なバックグラウンドの職員がいるので、多様な刺激を受けながら成長できます。府の法人であるため大学と比べると行政との連携が多く、かたいイメージがあるかもしれませんが、関西出身の方が多いため、雰囲気も明るく笑いが絶えません。

私が勤務している生物多様性センターは、平成30年1月に建て替えただけで、綺麗で快適で、働きやすい環境です。

入所 平成27年4月
所属 環境研究部 自然環境グループ
担当 森林や樹木に関する調査研究

スタッフ職 (農芸)

ぜひ一緒に汗を流しましょう!



鬼追 良隆 Kioi Yoshitaka

Q1 研究に必要な試験用の供試作物の栽培管理とスケジュール調整、防除に関する調査研究をサポートしています。慣行栽培しながらも病害虫が発生しやすい環境を整え、目的の病害虫のみに特化した試験を成立させるのが大変です。

試験を成功させるためには一定の栽培技術が求められますし、栽培の結果は気象条件などにも左右されるため、失敗や苦労も多く、日々試行錯誤を繰り返しています。しかし、作物は手をかければかけるほど応えてくれるので、担当した試験が無事に終わると達成感があります。

Q2 様々な職種がありますが、その枠をこえて目的達成のために一緒に業務をするので、経験の深い浅い関係なく意見が言える環境です。また業務に必要な様々な資格取得のチャンスがあるので、個人のスキルアップにもつながりやすいです。

入所 平成27年8月
所属 食と農の研究部 栽培飼養グループ
担当 新農薬実用化試験用供試作物の栽培

事務職

好奇心旺盛な人が楽しめる場所です!



尾崎 茉莉耶 Ozaki Mariya

Q1 事務職は色々な部署に配属される可能性があります。部署や個人で仕事内容は違い、周囲の人との連携も必要です。そのため、「自分ひとりがかればいい」と思わず、周りの人から見て分かりやすいように業務を進めることの大切さを実感しています。

現在は銀行へ入金を行う出納業務を担っていますが、もともとは会計の知識がありませんでした。今の私のように、必ずしも得意分野に配属されるわけではありません。しかし、それぞれの配属先で「専門家ではない自分だからこそ出来る工夫」があるのだと思います。

いずれはもっと現場に近いところで、その「工夫」を発揮して、事務職として研究を支援したいと思っています。そのために常にアンテナを張って、研究所やそれらに関わる情報を取り入れるように心掛けています。

Q2 研究所は名前の通り「環境」「農林」「水産」と多岐に渡る研究をしている法人です。分野の違う研究が1つの会議で発表されたりと、色々なことを知ることが出来る面白い職場です。

入所 平成27年4月
所属 総務部 管理グループ
担当 出納業務

技術職 (環境分野)

一緒に分析のプロフェッショナルを目指しましょう!



小野 純子 Ono Junko

Q1 現在は、ダイオキシンの分析と、化学物質の分析法開発が主な業務です。学生のときの水質分析の経験を生かしつつ、より微量な成分の分析となるので注意しながら作業しています。

ここは府立の研究所なので、行政からの依頼により分析を行い、結果も大阪府から公表されます。特にダイオキシンは府民の方も敏感ですし、プレッシャーを感じることもあります。しかし分析結果を出すことで環境の現状を明らかにし、環境行政の施策に生かすことができるので、とてもやりがいのある仕事です。

分析法開発も困難なことは沢山ありますが、色々な方のアドバイスを聞きながら、求められる化学物質を正確に測定できる分析法の確立に取り組んでいます。

Q2 入所時は初めてのことがばかりでいろいろと戸惑いでしたが、頼りになる先輩方が沢山いて相談に乗ってくれるのがとても心強いです。

また、環境と農林・水産とがひとつの研究所でまとまっているので、分野を超えて横の連携がスムーズであるところも魅力のひとつです。

入所 平成26年4月
所属 環境研究部 環境調査グループ
担当 分析法開発・ダイオキシン分析業務

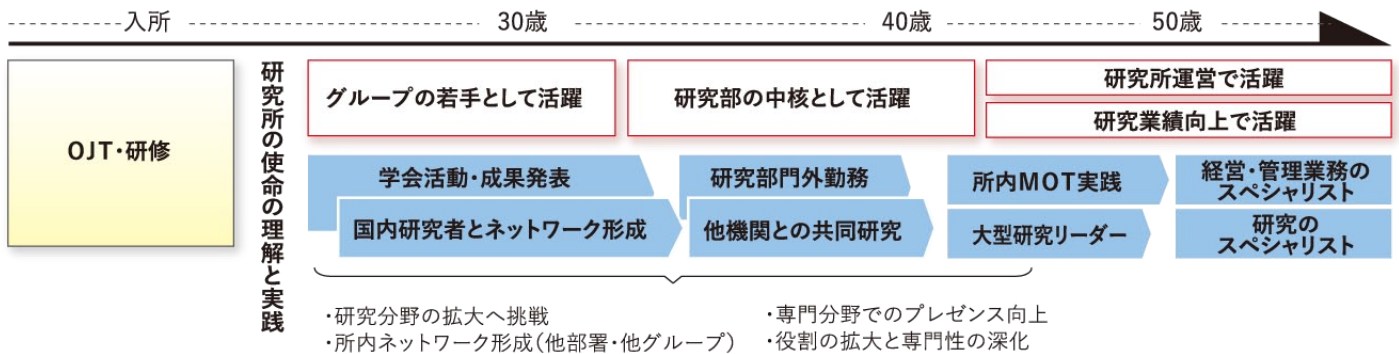


当研究所では、所内規程に基づき各職種ごとに大阪府職員に準じた昇任管理を行っています。また、各職員が年度当初に設定する業務目標の達成度等をベースとした人事評価制度を運用し、その結果は給与に反映されます。

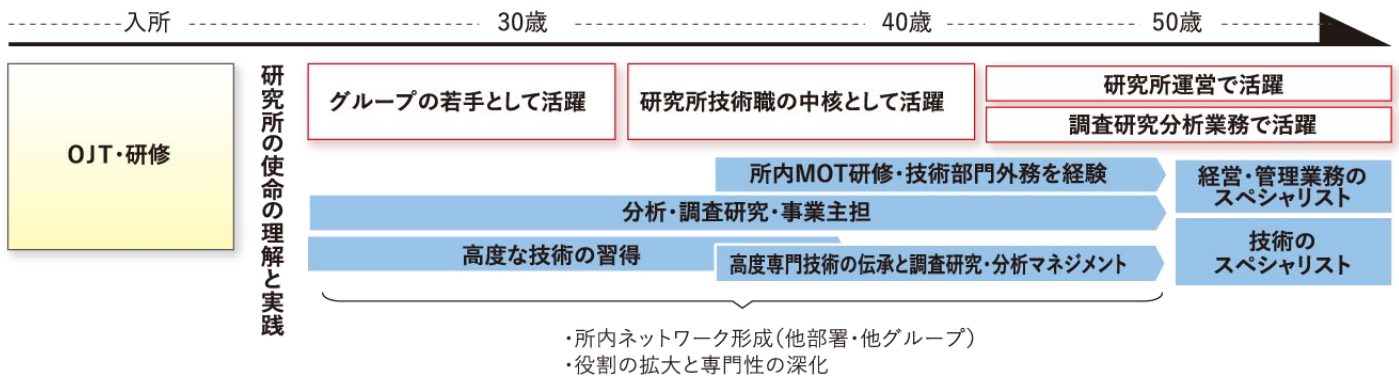
さらに、職員のキャリア形成の観点から、職種にかかわらず、適時人事異動を実施しており、所内だけの配置転換にとどまらず、人事交流として大阪府への派遣も行っています。



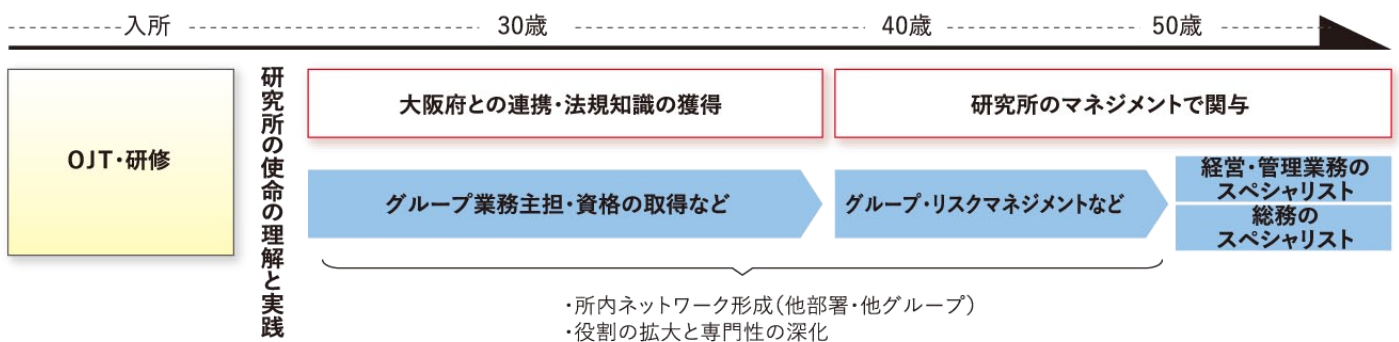
▶ 研究職



▶ 技術職



▶ 事務職



研修制度

Training

幅広い視野と専門領域を併せ持つ人材を育成するために、当研究所では新規採用者をはじめ各階層に応じた一般教養研修を実施するとともに、専門的知識習得に向けた技術研修を実施しています。

また、自主研修活動支援や大学院修学支援、通信教育受講支援等、職員の自主的な資質向上への取り組みを支援しています。

人を育てる

この他にも年度計画に基づき、各種研修を実施しています。

- 新規職員採用研修
- メンタルヘルス研修
- 人権研修
- コンプライアンス研修
- 資格取得支援
- 情報セキュリティ研修
- 他研究機関との合同研修
- 環境マネジメントシステム研修
- 専門研修(研究倫理、統計etc)

業務を遂行する

技術を磨く



● 給 与

大阪府に準じた給与体系であり、初任給は経歴その他に応じて一定の基準により加算されます。このほか、通勤手当、扶養手当、住居手当、時間外勤務手当、期末手当、勤勉手当等の諸手当がそれぞれの条件に応じて支給されます。

● 勤務時間

原則として午前9時から午後5時30分（午後0時から午後0時45分まで休憩）となっており、土曜日、日曜日、祝日、年末年始（12月29日から翌年1月3日までの日）は休みとなります。ただし、これらの条件は、勤務所属により異なる場合があります。また、平成31年4月1日より、フレックスタイム制を導入しており、これを選択することもできます。

● 休 暇

年次休暇（年間20日、残日数は20日を限度として翌年に繰越し。ただし採用の年は、採用月により付与日数が変わります。）のほか、病気休暇、特別休暇（夏期・結婚・出産等）、介護休暇があります。

年次休暇の活用
年次休暇は1時間単位で取得できるので、病院に行きたいときや役所の手続きなどで少し早く帰りたいときなどに活用しています。 【総務部 総務グループ 男性職員】

● 出産や育児をしながら働く職員へのサポート

妊娠中または出産後1年以内の健診を受けるための特別休暇、産前産後休暇や、男性職員の妻が出産する場合に取得できる特別休暇等の制度があります。また、子どもが1歳6ヶ月になるまでの育児時間特別休暇、子どもが満3歳になるまでの育児休業や、小学校就学前までの育児のための育児短時間勤務、部分休業（1日2時間以内）等を、男性・女性を問わず取得することができ、安心して長く働くことができる制度が整っています。

育児時間の活用
平成28年4月に長男を出産し、翌年4月に復帰。妊娠出産育児に理解のある職場で、妊娠中から現在に至るまで、健診や産前産後の休暇、育児休業、育児時間等の制度を利用させていただきました。上司や同僚に休みをカバーしていただく分、より集中して仕事をするよう心がけています。 【企画部 企画グループ 安松谷】

● 福利厚生

地方職員共済組合へ加入するため、短期給付事業（病気、けが等を受けた組合員に対する給付）、長期給付事業（年金）が受けられます。また、様々な優待が受けられる福利厚生倶楽部“リロクラブ”に加入できます。

● 職員交流

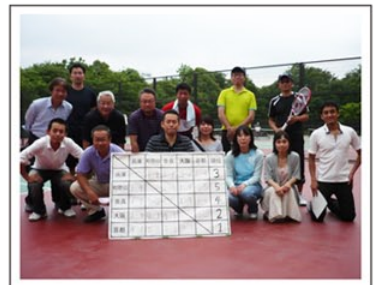
業務時間後や週末に職員有志でテニス、野球、山登り、卓球など楽しく活動しています。大阪府の職員との野球の合同試合等もあり、職場を超えた交流も深めています。

平成30年4月採用者で大卒、22歳の場合。
（下記金額には地域手当を含む。）

職 種	初 任 給
研究職	221,100円程度
技術職	202,900円程度
事務職	202,900円程度
スタッフ職	184,700円程度



北横岳山頂で！（登山部）



テニス部近畿大会（テニス部）



環境農林水産部室課対抗野球大会（野球部）



卓球トーナメント大会（卓球愛好会）

